



展示棟夜景

- ・考えることを学ぶ場所
- ・西田幾多郎の精神を伝える場所
- ・子供達に考えることの意味を伝える場所

をすることを目的とし、「哲学の杜」の中核施設として建設され、建物は、大きな特徴としてボリュームの一部を地形の傾斜に沿って地下へ埋設し、その屋上を「哲学の杜」との連続性を考慮した階段庭園として利用することにより、「哲学の杜」全体の環境と景観に配慮しています。

施設は、「哲学」を体験できる展示を整備した展示室、図書室と、講演会を主な用途とする、約300席収容の哲学ホール、そして各種セミナーに利用できる研修室、さらに日本海に沈む夕日を眺めることのできる展望ラウンジ等で構成され、随所に思索のきっかけとなる仕掛け（スペース）を設けています。



回廊



哲学ホール



フォーラム

## DATA

河北郡宇ノ気町内日角地内  
平成13年6月完成  
RC造：地上5F、地下1F  
延 2,952㎡